

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室ふれんず秋田南教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2日		～ 令和 8 年 2 月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 名	(回答者数) 8 名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 12日		～ 令和 8 年 2 月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数) 5 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な種目の運動プログラムがある。</li> <li>専門的支援が可能な職員が在籍している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動療育では、粗大運動や微細運動やルールのある遊び等を通して楽しく身体を動かす活動をしている。</li> <li>学習療育では、運動の興奮状態から一気に落ち着いて集中するという習慣づけを行っている。また、専門的支援を通してソーシャルスキルトレーニングやコミュニケーションスキルの向上につながる訓練を行っている。</li> </ul>	活動の固定化防止やより良い療育のため、日々のミーティングの中で一人一人の支援内容について検討・改善を行っている。
2	屋内、屋外のイベントが豊富で、近隣施設との交流会、合同イベントも行っている。	各種イベントを催し、工作や体験、外部イベントへの参加など、様々な経験や地域との交流ができるよう企画している。	職員全体の資質向上のため、隙間時間を利用して研修や勉強会を頻繁に行っている。
3	お子様および保護者様の満足度が高い。	保護者様のニーズや困りごとへの助言などに丁寧な対応を心がけている。	連絡頻度が低い保護者様に対しても、家族支援の観点から情報共有や共通理解のために定期的にアンケートを実施している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携全般（地域、その他の施設等）ができていない。	お子様の利用時間が短いこと、教室での活動プログラムがあるため、なかなか外部と関わる時間を取れていない。	定期的なイベントを開催しているので、事前告知に力を入れて、広く参加していただけるようにしていきたい。
2	非常時の対応や訓練に対する認知度が低い。	定期的に災害等発生時の対応や避難訓練等を実施しているが、保護者様にあまり周知いただけていない。	実施記録や活動の様子などを積極的に発信していく。
3	研修会等関する認知度が低い。	かなりの頻度で事務所内外の研修を行っているものの、あまり発信できていないため保護者様に周知されていない。	こまめに情報発信していくことで周知を図り、要望があれば保護者様も研修等に参加できるような体制を整えていく。